

湖北3大学（滋賀大学、滋賀県立大学、長浜バイオ大学）による

# MOT講演会

【要 旨】 「日本は現在、キャッチアップの時代からフロントランナーの時代へ移行しつつある。」といわれています。キャッチアップの時代では、欧米諸国という目標やベンチマークがあり、それらに追いつき・追い越すために、いわばWHY / WHY / WHY（どうすれば追い越せるのか）を考える帰納的思考での成功体験を持つ技術者が多く誕生しました。

しかし日本がフロントランナーになった現在は、ベンチマークなどが存在せず、目標が未知のままに常に、「世界に向けて何か新しい『モノ』（機能価値）や『コト』（心理価値・自己実現価値）」を提案し続けなければいけません。いわば、WHAT / WHAT / WHATと、演繹的に未知の予測をし、想像力と創造力を発揮して、新たな製品やサービスの価値創造を進めていかなければならないのです。

このような演繹的思考力を持つ人材こそが現在求められる真のMOT人材であり、そのような人材育成のためにイマジネーション、クリエイティビティー、そしてロジカル・シンキングの三位一体となった能力開発が必要です。

今回、滋賀大学、滋賀県立大学、長浜バイオ大学の三大学が連携して、「湖北『学学』連携協議会」を立ち上げ、主として地場産業経営者等の皆様を対象として、3大学の研究シーズを広く提供する講演会等を開催していくことになりました。そのプロローグとして、21世紀のヒット商品を生み出す技術経営指導（MOT）に関する講演会を開催します。

---

## 【第1部 スピーチ】

### 1. 滋賀県立大学： 「中小企業における新製品開発とMOT」

講 師：三 好 良 夫

（滋賀県立大学地域産学連携センター長、工学部機械システム工学科教授）

### 2. 長浜バイオ大学：「ゲノム創薬～研究開発からビジネス展開まで～」

講 師：水 上 民 夫

（長浜バイオ大学研究部長、バイオサイエンス学部教授、遺伝子生命科学コース）

### 3. 滋賀大学： 「経営・マーケティングに敏感な技術力、技術に敏感な経営・マーケティング力」

講 師：林 廣 茂

（滋賀大学産業共同研究センター客員研究員、同志社大学大学院ビジネス研究科教授）

## 【第2部 パネルディスカッション】 「いまこそMOT教育をはじめよう！」

コーディネータ：林 廣 茂

パネリスト： 野 本 明 成（滋賀大学産業共同研究センター長）

宇佐美 照 夫（滋賀大学産業共同研究センター客員教授）

三 好 良 夫（滋賀県立大学地域産学連携センター長）

松 居 祐 一（滋賀県立大学地域産学連携センター教授）

水 上 民 夫（長浜バイオ大学研究部長）

---

【彦根会場】 日 程： 平成16年6月15日（火）14：00～17：00

場 所： 彦根商工会議所4Fホール（定員80名）

【大津会場】 日 程： 平成16年6月29日（火）14：00～17：00

場 所： 滋賀大学大津サテライトプラザ サテライトルーム（定員50名）

---

主催： 湖北「学・学」連携協議会準備会 後援：財団法人滋賀県産業支援プラザ

参加費無料 申込み方法は裏面を参照ください。

問合せ先：湖北「学学」連携協議会準備会事務局（滋賀大学産業共同研究センター）TEL： 0749-27-1141

湖北「学・学」連携協議会準備会事務局 宛

湖北3大学（滋賀大学、滋賀県立大学、長浜バイオ大学）による

## MOT講演会

受講申込書

会場（参加会場に ）	彦根会場 ・ 大津会場	
貴社・貴団体名	ふりがな	
所在地	〒	
参加者	氏名	ふりがな
	所属・役職	
	E-mail	
	TEL	
	FAX	

湖北3大学（滋賀大、滋賀県立大、長浜バイオ大）による『MOT講演会』について、上記のとおり申込みます。

申込み先

FAX： 0749-27-1431

E-mail： jrc@biwako.shiga-u.ac.jp （上記必要事項について送信下さい）

問合せ先

湖北「学学」連携協議会準備会事務局（滋賀大学産業共同研究センター）

住所：〒522-8522 彦根市馬場1-1-1 TEL： 0749-27-1141

（E-MAIL 及び FAX による申込みの場合、受付けた旨の連絡は行いませんが、定員に達した時はお断りの連絡をさせていただきます。）